

○ 主役を食ってしまうわき役の話

高校時代に親の職業が発覚して以来、「にじます」というあだ名で呼ばれるようになるぐらい、自分の家はにじます料理屋だと思っておりました。現在もそのつもりで店をやっているのですが、時々にじます以外の料理を「おいしい！」と言っていただくこともあります。褒めていただけることは素直にうれしいと思いつつ、にじますの「に」の字も話題にのぼらないときは若干複雑な思いも. . . そんなサイドメニューの中でも、最近よくおいしいと言っているのが「茶碗蒸し」です。日本全国、味や具材にバリエーションがあるようですが、当園の茶碗蒸しはちょっと甘めなデザート感覚の味にしています。取り立てて変わった調味料を使っているわけではないので、ご家庭でも簡単に再現できると思います



茶碗蒸しに栗が入るのは北海道ルール、と知ったのは大人になってから。

が、ご要望が多ければ「松久園特製茶碗蒸しの素 卵と混ぜて蒸すだけであの料亭の味が！」なんていう新製品もできるかもしれません。

○ バリアフリーへの第一歩、赤いブロックの謎

当園の門を入ると目に入るブロックの道。庭へ向かう白いブロックの中ほどに赤いブロックが敷き詰めであるのにお気づきでしょうか。気づいていないですよ。正直、従業員でも気づいてないのではないかと先ほど訊いてみたところ「存在を知らない」「あるのは知っているが理由は知らない」との答え。お客さんに「この赤いところは何？」と訊かれたら「さあ、社長の趣味ですかね」とか答えてしまいそうです。以前は土の道だったところに、4年前にブロックと玉砂利を敷いたのですが、敷いてからふと「手押し車を押して来られるお客さんには不便ではないか」という疑問が浮かびました。世界に先駆けて高齢化のすすむ日本、その中でも最先端を走る当園としては、ご高齢のお客さんに不都合があってはなりません。何か解決策を、と考え迂回路を作った次第です。さて、無事に玄関までたどり着いたお客さんを待ち受けるのは客室に至るまでの数々の段差。こちらを解消できる日は果たしてやってくるのでしょうか。まだまだ、ご不便かけます。



実際に手押し車のお客様を見かけたら、ぜひ教えてあげてください。

○ 「□利□欲」四角の中に入る一字は。



タイトルのようなミニクイズもついています。解答は次のページに。

10月に入り来年の手帳やカレンダーをあちこちで目にするようになりました。我が家では部屋ごとにこのカレンダー、と割と決まっているのですが、毎年悩むのが皆が毎朝利用する狭い個室のカレンダーです。どことは言いませんが。気分が落ち着くきれいな風景がいいのか、多少時間があるので読むところがあったほうがいいのかなどと思案しまして、ここ数年はちょっと真面目に「学び」のあるカレンダーがかかっております。今年は四字熟語を集めたカレンダー。写真にある「温厚篤実」もそうですが、今まで見たことのない熟語も多くあり、朝の短い時間に非常に多くを学ばせてもらいました。ほとんど水に流してしまいましたが. . .